



ケアの思想と対人援助—終末期医療と福祉の現場から

患者・クライアントの心配・気懸かりを「引き受ける・担う」という発想から、従来の援助に対する考え方を見直す。改訂増補にあたっては旧版での不十分な所を加筆・修正し、新たに人間の「苦しみの構造」に焦点をあてて書き加えている。